

なび助の 使い方

必要な機器

1 GPS

NMEA0183で信号出力できるもの。

NMEA (National Marine Electronics Association) 規格は、すでに多くのマリンエレクトロニクス機器に採用されている。そのおかげで異なるメーカー間の機種接続が可能になっているのである。ちなみに最近では色々なメーカーからどんどん新しい航海機器が出ていますが、これから買うなら将来の拡張性を考えても、NMEAの信号出力に対応しているものをお勧めだ。

2 コンピューター

NEC PC-9801シリーズ、あるいはその互換機。艇上で使用することを考えればノート型になるだろう。

ノート型パソコンは移動して使うことを考えて作られてはいるが、バッテリーは1~2時間程度しか持たないので、艇内での電源も確保する必要がある。

また、この「なび助」はハードディスクなしでも使えるので、古いモデルのものを中古で購入してもよいだろう。また、基本ソフトであるMS-DOSも必要だ。

3 接続用ケーブル

RS232Cのストレートケーブル。コネクターには25個ものピンが付いているが、実際使うのは2本だけ。

接続方法

使用するGPSによってGPS側の繋ぎ方は異なる。ここではJRCのハンディーGPS「JLR-4400」を使ったが、この場合はケーブルの片方をちょん切って外部電源アダプターの中の外部接続端子に繋ぐ。

パソコン側はRS232Cコネクターに接続。

RS232Cとは電氣的な規格のことで、コンピューターでは広く使われている。RS422というのもこれの上位互換の規格である。

さらに通信プロトコルというものがある。このプロトコルに合わせるために各パラメーターを設定する。このあたりがやや複雑。

つまり、RS232Cという電氣的な規格の上で、各通信プロトコルに従い、NMEA0183規格のデータを受け取る、というように考えればよいと思う。

一度繋いでしまえば、後はあまり意識しなくても使えるが、実際このように各機種を繋いでデータの受け渡しをする場合、こ

なび助の入手方法

「なび助」は以下の方法で手に入れることができる。

●作者に直接申し込む

松浦昭良:

〒636-01 奈良県生駒郡斑鳩町興留3-3-10

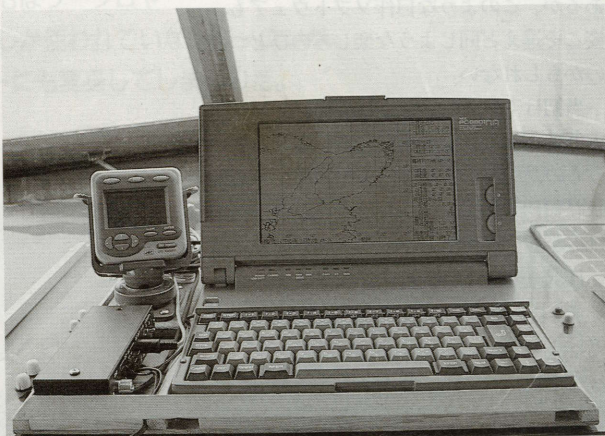
現金書留(実費5000円)で

●コンピューター・ネットワークからダウンロードする

NIFTY-Serve「セーリング・フォーラム」
PC-VAN「PCオーシャンヨットクラブ」
それぞれのソフトウェア・ライブラリーに登録済み

NIFTY-Serve、PC-VAN等という商業ネットは、ネットワークのホストコンピューターにそれぞれの会員がメッセージや自作のソフトを登録、別の会員が電話回線を使ってホストコンピューターにアクセスし、それらのデータやプログラムを取り込む、といったことが行える。他にもいろいろと海に関連したソフトが登録されている。「なび助」のような完成度の高い自作ソフトは、フリーウェアとかシェアウェアなどと呼ばれ、現在さまざまな分野のものがある。それぞれ無償、あるいは実費程度で手に入れることができる。

<マリネスト7>にセットされたコンピューターとGPS(JLR-4400)。左手前の黒い箱がJLR-4400の外部電源アダプター。ここから本体に電源が供給されその電源ケーブル経由でNMEA0183のデータが出力される



コンピューター背面の接続

